

～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金

国民年金は、老後やいざという時の生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若い時に公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後や、病気やケガで障害が残った時、家族の働き手が亡くなった時に、年金を受け取ることができる制度です。



国民年金のポイント

◎将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません

国民年金には、老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残った時に受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

★「学生納付特例制度」

学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する人です。

★「若年者納付猶予制度」

学生でない50歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金のご相談・手続きなどについては玉名年金事務所または役場税務住民課までお問い合わせください。

問▽玉名年金事務所 ☎74-1612 ▽税務住民課住民係 ☎57-8502

消費生活相談窓口のご案内

近年、若年層を狙った悪質商法に関する消費者トラブルが全国で発生しています。成人になりたての若者は、自分の意志でさまざまな契約ができるようになりますが、契約に関する知識が乏しく、未成年者と比べて契約の取り消しも難しくなるため、特に被害に遭いやすい傾向にあります。

消費者トラブルに遭遇した時や、身近な人が被害に遭ってしまった時は、消費生活相談窓口にご相談ください。

窓口では、商品の購入や契約に関するトラブルなど、消費生活全般の相談を受け付けています。1人で悩まず、お気軽に消費生活相談窓口にご相談ください。荒尾市、大牟田市、長洲町の窓口でも相談できます。

【各相談窓口の連絡先】

大牟田市消費生活センター(大牟田市役所内) 相談日時:月曜～金曜 9:30～16:00 電話:0944-41-2623	荒尾市消費生活センター(荒尾市役所内) 相談日時:月曜・火曜・水曜・金曜 10:00～16:00 電話:63-1173
南関町消費生活相談窓口(南関町役場内) 相談日時:木曜 9:00～16:00 電話:57-8500	長洲町消費生活相談窓口(長洲町役場内) 相談日時:木曜 10:00～16:00 電話:78-3113

問 総務課 総務係 ☎57-8500



スポーツの推進に尽力

原口 護さん

原口護さん(四ツ原)は12月2日、町長訪問し、地域スポーツの推進に尽力したとして文部科学大臣表彰を受賞したことを報告しました。

原口さんは昭和62年から体育指導委員やスポーツ推進委員としてペタンクなどのニュースポーツの推進に取り組んでいます。

原口さんは「周りの人のおかげでこのような賞をいただけた。これからは障がい者と健常者が一緒に楽しめるスポーツを推進したい」と今後の目標を語り、佐藤町長は「これからも町のリーダーとして、スポーツ推進や後継者育成に頑張ってください」と祝福しました。



夢に向かって難関突破

花見商店とヤマチクが合格グッズを贈る

有限会社花見商店(花見洋昭代表)の花見代表と株式会社ヤマチク(山崎清登代表)の山崎専務は12月10日、南関中学校を訪問。本格的な受験シーズンを前に、さまざまな困難を突破してほしいという願いが込められた「難関突破への架け箸」と、「難関突破達成米(300グラム)」を3年生58人に贈呈しました。

また、贈呈式にはトッパ丸も登場。トッパ丸特製のばんそうこうを生徒たちに手渡しました。

花見代表と山崎専務は「すべらない箸でお米をたくさん食べて、体調に気を付けて難関を突破してください」と激励しました。受け取った坂梨ひなたさん(相谷)は「受験当日は縁起のいい箸で南関突破達成米を食べて頑張りたい」と意気込みました。

新鮮な野菜を求めにぎわう

もやいの郷感謝祭

もやいの郷では、11月29日「もやいの郷感謝祭」を開催しました。このイベントは、もやいの郷を運営するシルバー人材センターの周知や会員と住民の交流を目的に開催。会員らが丹精込めて育てた農産物や加工品などを販売し、500円以上購入した人は、米など豪華景品が当たる空くじなしの「お楽しみ抽選会」に挑戦しました。

当日は朝から多くの人々が来場し、野菜を買い求める長い列ができました。野菜を購入した植田須美子さん(上坂下)は「野菜が新鮮でおいしいからとても助かる。抽選が楽しみで毎年楽しみにしています」と笑顔で話しました。



▶ 買い物を楽しむ来場者

住民の防災意識向上を目指す

南関町防災士の会発足

町内の防災士など11人で構成する南関町防災士の会が発足しました。

設立総会が11月15日、南の関うから館で開催され、初代会長に境長一郎さん(宮尾)が選出されました。

境会長は「住民に防災意識を持ってもらえるよう、広く啓発活動を続けていきたい」と話しました。

同会は今後、消防団などの町内外の団体と情報交換を行い、住民の防災意識の向上のため、積極的に啓発活動を行います。



▶ 設立総会の様子